

三鴨小だより

学校教育目標

やさしい子 かしい子 たくましい子

第10号

発行日 平成30年9月1日

発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

ありがとうございました

7月22日(日)に奉仕作業と廃品回収が行われました。この2つが同日に行われる例は少なく、しかも連日の酷暑の中での実施です。PTA会長さんは参加者の体調をたいへん心配していました。幸い、いくぶん暑さが和らぐ中での実施となり、体調不良を訴える方はいませんでしたが、参加者の水分補給を含め、当日の運営に御尽力くださったPTA役員の皆様へは感謝の気持ちでいっぱいです。

ところで、私は本校の廃品回収の様子を初めて目にしたわけですが、そのスケールの大きさには驚かされました。校庭いっぱいにコンテナが並べられ、学区内各地から搬入されてきた廃品を、PTA役員と5、6年生児童がまるでマシンのように投入していくのです。ものすごい廃品の量とものすごく手際のいい集積です。これまでのノウハウが集約された流れなんでしょうね。そして地域の皆さまはこの廃品回収に向けて、ずいぶんと前から廃品をストックしてくださっていることを聞きました。これまた感謝の気持ちでいっぱいです。益金は児童のために大切に使用させていただきます。どうか本校の子どもたちを今後も温かい目で見守りください。

頼もしいOB

8月18日(土)の夕刻から夜にかけて、本校のおやじの会主催の「おやじ祭り」が開催されました。私も初めて見せていただきましたが、縁日、お化け屋敷、花火が主な内容で、子どもたちの健やかな成長のために地域の大人たちが一肌脱ぐという、理想的な具体例だと感じました。ところで、このおやじ祭りの運営には4人の中学生(もちろん三鴨小OB)が参加してくれました。縁日の準備から運営まで手伝ってくれ、最後はお化け屋敷の後片付けまで率先して手伝ってくれました。そして最後は礼儀正しく我々にあいさつをして去って行きました。頼もしく、すがすがしい生徒たちですね。本校と藤岡第一中が連携・協力して、こういう子どもたちをどんどん育てていき

たいものです。.....が、こういうすばらしい子どもたちは、学校だけでは育てられないこともよく分かりました。

よろしくお願いします！

2学期から、およそ1年3か月ぶりに館野 恵 先生が戻ってきてくれました。毛塚千智先生からバトンを受けて、3年生を担当します。3年生にとっては去年の1学期の途中まで担任だった館野先生と再会するわけで、それはそれは懐かしいことでしょう。しかし館野先生、再会をよろこんでばかりはいられません。すぐに運動会の練習が始まります。しかも、いきなり始業式の日には日直が当たるというおまけ付きです。なかなかの前途多難なスタートですが、どうぞよろしくお願いいたします。

始業式

子どもたちには、「明るいあいさつが飛び交う、素敵な三鴨小にしていきましょう」と話しました。保護者の皆さん、地域の皆さん、どうか本校と口裏を合わせていただき、明るいあいさつができる子どもたちを育てていしましょう！そうやって育った子どもたちが、卒業後も「おやじ祭り」などの機会に本校で活躍してくれたら最高ですよ。

さて、各クラスの代表による、夏休みの思い出や2学期の抱負の発表もありました。代表の子どもたちは全員が1列に並んでまずは私におじぎをし、その後は前面に整列し、今度は全校児童にそろっておじぎをしました。さあ、1年生から順番に発表です。ところが、1年生は列から離れてマイクの前に移動するタイミングがつかめません。その瞬間、ホントにその瞬間です。隣の2年生の女の子がさりげなくマイクの方に誘導してくれました。いやはや、生まれてからまだ8年間くらいしか経ってないはずなのですが、もうすっかり立派なお姉さんですね。各クラスの代表の子どもたちは全員が立派に発表してくれました。でも子どもたち、知ってるかい？発表した内容はもちろんだけど、発表する態度もたいへん立派だったんだよ！